

2018年度
(第2四半期)

広貫堂グループ IR情報

株式会社 広貫堂

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上面では、86億5,900万円となり前年同期比111.4%、計画比105.1%でした。
これは医薬品製造受託事業において、国内最大規模の顆粒剤製造移管事業が呉羽工場にて予定通りに進み、関連製剤の製造量が今年度に最大化した事、さらに新規受託品目の獲得やOTC製品を中心とした既存受託製品の受注も好調だった事が要因となります。

収益面では、4億9,300万円となり、前年同期比3億7,800万円増となりました。
これは上述した呉羽顆粒剤工場の本格稼働及び既存受託製品の受注増に伴い、生産効率が高まり、収益性が向上したためとなります。

(事業運営面)

引続き既存受託品目の高品質で安定的な供給、新規取引先開拓および新規受託品目獲得に注力しております。

○ 課題への取組み

・更なる工場稼働率および収益性向上のため、積極的に医薬品製造受託事業の拡大に注力しております。

○ トピックス、適時情報

・リテール事業部の飲食店舗部門及びその企画管理部門を分社化し、廣貫堂H&F株式会社を新たに設立致しました。この分社化は、各店舗運営に適した機動的運用を取れるようにすることが目的となります。

○ 業績の概況 (広貫堂・単体) (第2四半期、平成30年4月～平成30年9月) (千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
売上高	5,999,490	6,643,715	7,775,308	8,659,205
経常利益	-662,907	-265,780	114,884	493,492

広貫堂グループ

○ 連結経営成績に関する定性的情報

連結売上高は、95億7,400万円となり、前年同期比107.6%、計画比103.0%でした。

収益面では、5億2,700万円となり、前年同期比3億3,000万円増となりました。

増収増益の理由は単体における理由と同様となります。

引き続き、収益性増加のため、工場稼働率の向上、販管費のコストコントロールに取り組んで参ります。

○ 業績の概況 (広貫堂グループ・連結) (第2四半期、平成30年4月～平成30年9月) (千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
売上高	7,732,799	8,114,433	8,900,920	9,574,395
経常利益	-727,589	-286,109	196,872	527,551

2018年度
(第2四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

日本薬剤 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上高は前年同期比95.4%の28億5,500万円となりました。
経常利益は前年同期比9.4%の270万円となりました。

(事業運営面)

ヘルスケア事業部では市場ニーズに応えた製品の開発を進めています。

○ トピックス、適時情報

新発売(4~9月)

医薬部外品 100mlドリンクリニューアル 1アイテム
清涼飲料水 500mlペット飲料 2アイテム、50ml瓶飲料 1アイテム

○ 業績の概況 (第2四半期、平成30年4月~平成30年9月)

(千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
売上高	3,006,628	2,925,190	2,991,123	2,854,598
経常利益	30,624	37,362	29,337	2,764

広貫堂薬品販売 株式会社

○ 事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面)

第二四半期は目標対比100%を達成し、利益は目標を大きく上まわり黒字で半期を追えることができました。
これは第一四半期に続き「人件費の変動費化」「原価率の圧縮」等が行われた結果です。

(事業運営面)

第一四半期より引き続き、自社ドリンクを中心に販売面で原価率の良い商品が売上の核を占めるようになりました。またエリア制に移行し、次期管理者候補を育成する委員会制度を設けるなど、人員の定着、育成を行うというメッセージを全社員に出しています。

○ トピックス、適時情報

平成30年7月23日第3回取締役会が開催されました。

新規導入商品として「プロテオグリカン」の販売を開始し、パイロット店舗として4営業所からスタートしています。

○ 業績の概況 (第2四半期、平成30年4月~平成30年9月)

(千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
売上高	842,279	771,135	726,233	714,932
経常利益	-77,852	2,980	-11,743	650

2018年度
(第2四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

トキワ広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

第二四半期も昨年対比で減収減益となっています。要因としては、毎年行ってきたドリンク中心の粗利施策が徹底できず、回収に後れを生じたためです。急激な販売面での落ち込みに対し経営施策ではカバーしきれない部分が多いので、来期に向けての抜本的な改善を計画しています。

(事業運営面)

主力商品である「サンリキソZ5000」の拡売を行いました。

○ トピックス、適時情報

平成30年7月23日第3回取締役会が開催されました。

○ 業績の概況 (第2四半期、平成30年4月～平成30年9月) (千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
売上高	109,331	110,444	110,526	83,723
経常利益	-1,146	-5,268	6,032	-6,733